# 防災対策特別委員会報告 委員会で挨拶する大庭委員長

#### ■地域防災計画の緊急見直し

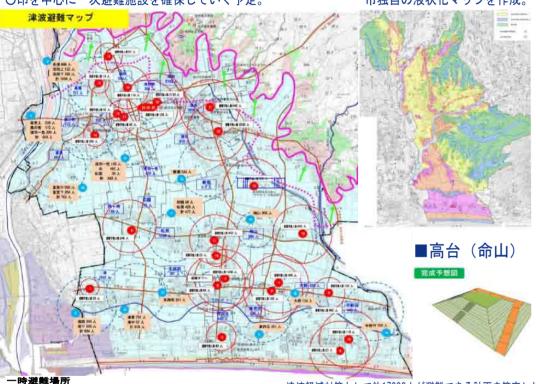
をしてまいりました。

災を教訓に緊急見直しをするというもので、これま での計画では不十分だった、津波、液状化、原発等に

市はこうした議会との協議に基づいた「地域防災計画(平成23年度修正)」を3月22日、 えた防災会議において決定いたしました。この計画の中には「津波の避難マップ」や「液状化マップ」、高

だ対策の必要性が出てまいりました。今後、県の第4次被害想定等、新たな国・県の指針等 が示された段階で、計画は原発対応等も含めて随時見直していくことになります。

■ (液状化ゾーニングマップ) 市独自の液状化マップを作成。



「緊急的に津波の危険から避難し、生命の安全を確保

	施設数	収容人数
民間事業所	12施設	2,389人
共同住宅	9施設	404人
公共施設	5施設	7,770人
新たな避難施設	14施設	6,489人

津波軽減対策として約17000人が避難できる計画を策定した。 平成27年度までに避難タワーや高台(命山)など建設予定。 高台は一辺約59m\*59m、高さは(海抜10m)のもの。 上の高台の図はあくまでも参考例として委員会に提案されたも





菜の花エコプロジェクト活動の一環として 大庭議員等が昨年夏より育てた 湊地区で菜の花鑑賞会が開催された。地元





## 皆様からのご意見お待ちしています。 大庭のホームページ

■http://www2s.biglobe.ne.jp/~mitiyosi/index.html

■ Eメール ohba@mxu. mesh. ne. ip

No.133 2012 春号+











置され4月1日よりスタート。袋井、磐田、 掛川、菊川、御前崎、森を対象に1日約270

発行所 大庭通嘉後援会 事務所 〒437-0055 袋井市土橋187 TEL·FAX 0538-42-1925

# 大庭みちよし後援会

Ohba Michiyoshi kouenkai News



東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと ともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

後援会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃は 大庭後援会に対しまして、格別のご指導賜り心より厚く 御礼申し上げます。

さて昨年の東日本大震災から1年余が経過をいたしま した。津波や原発災害の下、今なお、避難生活を余儀 なくされている被災皆様のことを思う時、心が痛みます。

袋井市でも発災後、官民あげて被災地皆様に様々な 支援が展開され、義援金も3870万円が寄せられ、釜 石市、岩沼市、陸前高田市をはじめ各地の災害対策本 部に届けられました。

一方、私たち市議会におきましても昨年6月、防災対 策特別委員会を立ち上げ、市の地域防災計画の見直し にあわせ、避難タワー、命山設置などを盛り込んだ津 波アクションプランの策定など、各種の震災対策に向 け積極的に議論を進めてまいりました。

この3月11日には、メロープラザで"東日本大震災を

忘れない"とのテーマで追悼式が行われると共に、防災 対策の取組報告や講演会も開催されました。

さて、こうした諸行事を挟んで、平成24年度予算を審 議する2月定例会が開催されました。市長からは安心安 全施策をはじめ、健康、環境、子育てなど新年度の重 点施策が示されたところです。

私からは新病院(中東遠総合医療センター)の来年 開院を受け、現市民病院の利活用問題や、その他本市 の当面の課題等、提言も交え一般質問(次頁掲載)を させていただいた次第です。

いずれにせよ、今年は私達議員、市長共に4年の任 期の最後の年に当たります。いま、市には様々な課題 がありますが、これまでの経験を生かして今年度も全 力で頑張ってまいります。倍旧のご指導、ご支援の程よ ろしくお願い申し上げます。

袋井市議会議員 大庭通嘉

## 平成24年度 袋井市一般会計予算

一般会計総額 298億1,000万円 前年対比1.5%増

## 大庭の市政に対する 「一般質問」から



## 

平成24年度2月定例議会は、さる2月21日に開会し、右表の会計予算及び、 下記の議案等が審議され、市長提出議案34件、全議案を可決承認し、3月21日、 30日間の会期を閉じました。

### 

- ・平成24年度袋井市一般会計予算について
- ・平成24年度袋井市国民健康保険特別会計予算について
- ・袋井市税条例の一部改正について
- ・袋井市子育て支援施設条例の一部改正について
- ・袋井市営住宅管理条例の一部改正について
- ・袋井市道路の認定・廃止について

ほか 市長提出議案27件 全議案可決

3. 発達障がいの心配ごとゼロ作戦

〇ふくろいの5つのゼロ作戦

2. 糖尿病予備軍ゼロ作戦

4. 集中豪雨被害ゼロ作戦

1. 待機児童ゼロ作戦

5. 市税滞納ゼロ作戦

#### 

#### 〇未来へつなぐ確かな一歩 重点戦略

- 1. 未来へおくる<u>安心・安全</u>
- 2. 生涯にわたる健康づくり
- 3. きめ細やかな子育て支援
- 4. 新たな活力を生み出す産業創造
- 5. 袋井発の魅力を伝える観光交流
- 6. 自然の恵みを活かす「新エネルキー促進」

## □ 平成24年度予算一覧

〈単位:万円 対前年増減率〉

一般会計		2,981,000	1.5
特別会計	国民健康保険会計	808,700	4. 5
	後期高齢者医療	63,300	16. 4
	土地取得会計	30,000	0.0
	公共下水道会計	187,000	▲0.5
	駐車場会計	7,800	4. 0
	農業集落排水会計	1,670	<b>▲</b> 4. 6
	訪問看護事業会計	2,630	<b>▲</b> 10.2
	介護保健会計	486,500	6. 2
	小 計	1,587,600	4. 7
企業会計	水道事業会計	230,270	<b>▲</b> 6.6
	病院事業会計	612,500	3. 4
	小 計	842,770	0. 5
総	計	5,411,370	2. 2

〈◎新規事業 聾	单位:万円〉
【安心・安全】	
◎津波避難対策	29, 400
◎液状化対策	390
◎幼保・小中学校防災教育推進	85
木造住宅耐震補強助成	11, 800
◎道路橋梁落橋防止事業	2, 600
【健康づくり】	
◎家族で楽しむスポーツ推進	160
中東遠総合医療センター建設	34, 000
(仮称)総合健康センター整備	4, 700
【子育て支援】	
子ども医療費助成	26, 300
民間保育所運営補助	99, 187
新学校給食センター整備	52, 000
【産業創造】	
◎新産業創出	100
袋井駅南北自由通路新設	42, 100
◎6次産業化促進支援事業	230
【観光・交流】	
◎全国育樹祭推進事業	250
◎袋井観光ルネッサンス	640
ふくろい遠州の花火補助事業	901
【新エネルギー促進】	
◎新エネルギー施策推進事業	3, 800
地域資源活用エコプロジェクト	74
◎サイクルタウン研究	50

平成24年度の袋井市の一般会計は298.1億円で、前年比1.5%の増、また、 特別会計、企業会計を合わせた総額は541.137億円で2.2%増となりました。 歳入のうち市税が法人市民税が前年対比4.0%回復し12.8億円としましたが、 固定資産税が6.1%減、都市計画税5.4%減と家屋評価替え、設備投資の低下で 市税全体としては1.3%減の143.5億円の計上となりました。地方交付税は5.7% 増の28億円、市債は津波避難タワーや学校給食センター等の大規模な建設事 業により、臨時財政対策債(地方交付税措置のある地方債)を含め前年比

これにより実質公債費比率は13%程度(公債費が財政に及ぼす負担で18% 以下が望ましい)、地方債の現在高(借金)は昨年より1.1億円増加し、 250.4億円、基金(貯金)は8.2億円減の54.6億円となります。

### 

27.0%増の39.07億円となっています。

事業の主なものとして、津波避難対策に2.94億円をはじめ震災対策に今年度 10.18億円の予算が計上されています。23年度だけでも7.08億円既に予算化し、 東日本大震災後、積極的な予算を投じています。健康関連予算では、来年5月に 開院する新病院のために3.4億円、現病院を聖隷福祉事業団に来年から療養病床、 診療機能を担って貰うため、その準備のための予算が0.47億円計上されました。 一方、子育て関連では、今年度あそび保育園が開園し待機児童対策を図ります。 民間保育所全体に約10億円の経費が投じられています。また、JR駅舎にも4.2 億円の予算でいよいよ南北通路事業の着工となります。産業については、6次産 業など新たな事業創造に向け、予算が計上されています。観光・交流に向け、 観光ブランド推進事業や、お土産開発にも力をいれていくため、640万円計上さ れています。秋には全国育樹祭がにエコパで予定されています。新エネルギー への取組として、高南小、北公民館、市東分庁舎に太陽光発電を設置します。

他に第5期(H24~H26)介護保険料が月額4,600円(200円UP)となります。前 期は4,400円と県下1位の高い保険料でしたが今期は11位、県平均は4,714円です。

一般会計		2,981,000	1.5
特別会計	国民健康保険会計	808,700	4. 5
	後期高齢者医療	63,300	16. 4
	土地取得会計	30,000	0.0
	公共下水道会計	187,000	▲0.5
	駐車場会計	7,800	4. 0
	農業集落排水会計	1,670	<b>▲</b> 4. 6
	訪問看護事業会計	2,630	<b>▲</b> 10.2
	介護保健会計	486,500	6. 2
	小 計	1,587,600	4. 7
企業会計	水道事業会計	230,270	<b>▲</b> 6.6
	病院事業会計	612,500	3. 4
	小 計	842,770	0. 5
総	計	5,411,370	2. 2
•			

## □ 平成24年度主な事業一覧

【安心・安全】	
◎津波避難対策	29, 400
◎液状化対策	390
◎幼保・小中学校防災教育推進	85
木造住宅耐震補強助成	11, 800
◎道路橋梁落橋防止事業	2, 600
【健康づくり】	
◎家族で楽しむスポーツ推進	160
中東遠総合医療センター建設	34, 000
(仮称)総合健康センター整備	4, 700
【子育て支援】	
子ども医療費助成	26, 300
民間保育所運営補助	99, 187
新学校給食センター整備	52, 000
【産業創造】	
◎新産業創出	100
袋井駅南北自由通路新設	42, 100
◎6次産業化促進支援事業	230
【観光・交流】	
◎全国育樹祭推進事業	250
◎袋井観光ルネッサンス	640
ふくろい遠州の花火補助事業	901
【新エネルギー促進】	
◎新エネルギー施策推進事業	3, 800
地域資源活用エコプロジェクト	74
◎サイクルタウン研究	50

#### ■ 現袋井市民病院の今後の活用は

- 問 掛川、袋井の統合新病院が来年掛川に開設 され、現市民病院は聖隷福祉事業団が療養病 | 8 現市民病院での実績値や全国平均値、近隣 床、回復リハビリ病床、一般病床等150床の 経営をすることで協議に入っている。この中 で、外来・健診センターを設置するとしてい るが、規模や経営方針はどうか。
- 答 総合内科的外来を設置する方針。1日患者 数を100人と想定し、医師を3人程度配置 予定。健診センターは、現在保健センターで 実施している健診と、中小企業で働く従業員 と家族を対象に健診できるよう協議を進める。



- 移転後、現市民病院に保健センターや社会 福祉協議会機能も入れるとのことだが、保健 センター等、機能移行後の施設の後利用は。
- 答 その後の施設利用は、現在、公共用地利活 用検討委員会において検討している。有効な 場所なので時間をかけて移転するまでに決め
- 問 掛川へ移転後の現市民病院は、どの程度の 面積を活用して運営する考えか。
- 西館全体とレントゲン検査などの医療設備 がある本館1階部分は医療分野に活用する。 本館の2階部分は健康センターや社会福祉協 議会が入った場合に事務室として活用する。 本館の3~5階は1年程度一般病床として使 用。基本的にはカルテ等書類の保管庫とした い。これ以外のスペースも検討中。



- 聖隷が経営する療養施設等は、当初西病棟 改修方針から、新施設建設に変更となった。 結局、改修費用は全体でいくらかかるのか。
- 現市民病院の西館西側に1200㎡の新施 設を建設、現病院の改修と合わせて2200 ㎡、6.5億円予定している。

- 聖隷福祉事業団に上限2億円を補助すると しているが算出根拠はどうなっているのか。
- 公立病院の数字、聖隷の実績値をもとに財政 シュミレーションにより上限 2 億円の赤字補 てん額を設定した。毎年度確実なチェックを 行い適正な補助に努める。
- 間 増改築部分6.5億円分の補助は適正な額か
- 🕿 増築部分は聖隷が見積もった建築単価を精 査した。改修部分も増築部からの建築単価を 参考に算出した。今後、実施設計の中でさら に精査を加える。
- 間(仮称)総合健康センター全体のランニン グ・コストはいくらを予定しているのか。
- 答 具体的内容が決定した段階でお示ししたい。 掛川との新病院運営に対する補助金、と この健康センターの総額費用は9億円、と以
- 前大庭の質問に答えたが、今も変わらないか 答 総額9億円を上まわらないよう努力する。
- 問 今年11月10日、11日に育樹祭をエコパで開 問 催され7500人のお客様が全国から見える。こ の事業を活かしたまちづくりの考えは。また、



商工会議所が桜3300本を含む6000本余の樹木 を平成12から5カ年にかけて植栽したが、育 樹祭に合わせてこの事業を支援してはどうか。

- 高 市をあげて大会を成功させるよう実行委員 会をつくり、本市のPRをしたい。樹木の管 理も今後支援したい。
- ■6次産業(1×2×3次産業)の展開は 問 生産、加工から販売までの6次産業推進に
- 国が本格的に動き出した。本市ではどのよう な事業の展開を考えているか。
- 答 平成24年度事業として、農林漁業成長産業 化ファンドを国、民間、自治体が出資して進 めることになった。本市も研究会を早期に設 立をしたい。鋭意ファンドを活用し取組を進
- ■河川愛護活動の地元負担の軽減を
- 問 堤防の草刈り等、磐田、掛川に比べ袋井市 の地元負担は大きすぎる。市長はどう認識し

自損事故等低い補償内容になっている。補 助金についても相当低くなっている。高齢化 も進み基本的に考え方を構築する時期にきて いると思う。





- りを河川周辺の地元負担で行っている。磐田 のように、行政が主体で出来ないか。
- 答 草刈りも可能な限り市の職員に、保険の拡 充もしていかなければならない。自治会によ って草刈りがあるところ、無いところ等、不 均衡な面もあり、24年度検討し、25年度 から改善を図りたい。少し時間をいただいて しっかりしたルールづくりをしたい。
- ■ドン・キホーテ進出について
- 問 今年9月、川井地先(元パイオニア跡地) にドン・キホーテの進出が予定されている。 当該店舗の進出で、多くの客が見込まれてお り、周辺道路整備がされていないことから、 地元住民から交通事故問題等出されている。 市として行政指導をどのようにするのか。ま た、道路改良をどのように考えているか。
- 答 現在庁内の意見を集約している。市は、地 域住民の意見を考慮した中で、周辺の道路状 況を確認し、警察とも協議し、交通安全対策 がとれるよう、県に意見を提出したい。道路 改良は地域の理解が得られれば、改良を検討 したい。



あそび保育園が袋井北地区に4月1 開園。定員120人。浜松のkkあ そび学園が運営。事業費6.4億円 のうち市から補助は0.6億円。待 25年度に待機児童は0になる予定。



4月14日、新東名高速道路が開通。 現在の袋井市の発展は現東名高速の 開設によるところが大きい。今後 鍵になるが、現時点では道路改良等 具体的取組みまでには至っていない。



食を袋井地区でもH25年9月(予定) より実施。笠原、南、高南小の自校 方式もセンター化となる。総額約2 6億円。新学校給食センター建設に 向け今年度は浩成と一部建築に善手。



び、H26年秋頃供用開始予定。H 24年度は詳細設計完了。仮駅舎建 設工事。電線移転。南北工事ヤード 造成。H25年度には仮駅舎供用開 始。現易者撤去。本体工事着手。



置に3万円/1kw、上限12万円 (昨年まで2万円/kw) に引き 励もしてきている。 上げ、県下トップクラスの補

般家庭の普及を2961 (フクロイ) 袋井市では、平成24年度、率20%にしたいとしている。

これまで、袋井市では太陽

ちなみに補助実績は、太陽の里をはじめ、山名小、浅中かなければならない。

発電1件、エコキュート1480件、る。 件、H30年には4000件、普及 エコジョーズ792件、ガスエン これまで大庭からも環境問 ジン給湯2件、ハイブリッド自 題については、様々な形で提

新エネルギー (太陽光や風力 陽光発電をH28年度までに一 テム28件、温水器174件、風力 じめ3施設に導入を予定してい

電動バイク1件等となっている。是非問題の議論と平行して、 また、公共施設への太陽光 本市でも新エネルギー導入に 発電導入もH12年建設の月見 向けて積極的な議論をしてい